

水稻作況試験情報 【平成 25 年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（出穂期）

8月以降も高温、多照で経過した。過去2か年平均値と比べて、出穂期はコシヒカリで1日、ヒノヒカリで2日早くなった。主稈止葉葉数はコシヒカリは同等、ヒノヒカリは少なくなった。おいでまいは、ヒノヒカリよりも出穂期が2日遅く、主稈止葉葉数が多くなった。

※農業試験場の移転により、綾川町の試験ほ場における生育データの蓄積が無いため、過去2か年平均値との比較とした。おいでまいは、初年目となるために過去データとの比較は無い。

1. 作況試験の方法

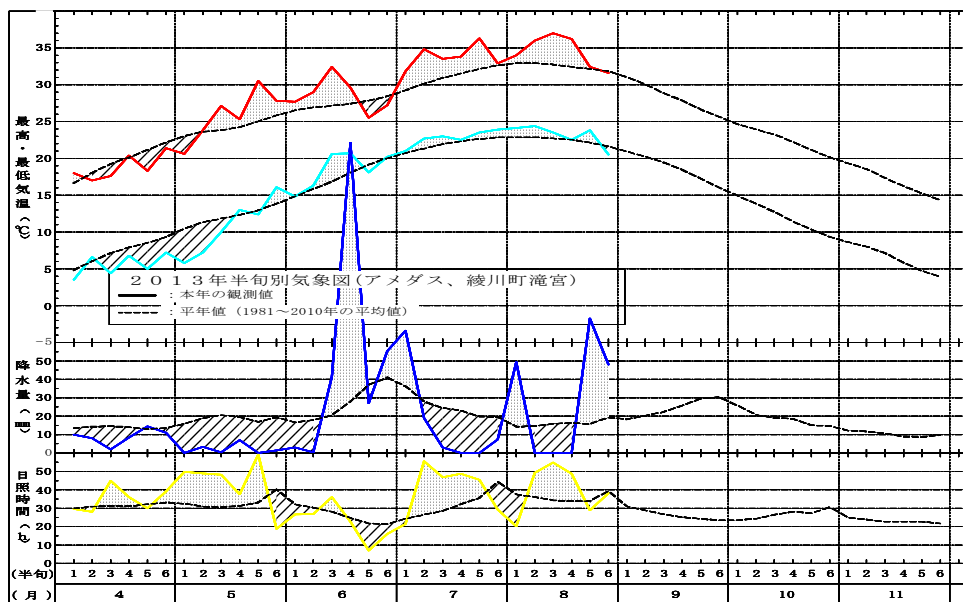
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5 株/m² (30 cm×18 cm)、1 株 4 本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後 1 株 4 本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I	穂肥 II
コシヒカリ	0.30	0.15 (8/ 1)	0.10 (8/ 9)
ヒノヒカリ	0.50	0.25 (8/12)	0.15 (8/20)
おいでまい	0.50	0.25 (8/12)	0.15 (8/20)

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N : P₂O₅ : K₂O = 14 : 10 : 12%)
- 7) 1区面積及び区制 1区 250 m² (コシカ 500 m²)、2反復

2. 具体的データ

平成 25 年産水稻 気象表 (8月6半旬まで)



平成25年度 水稲作況試験生育調査結果(出穂期)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい 本年
		本年	過去2か年 平均値	差(比)	本年	過去2か年 平均値	差(比)	
田植時 (6/20)	草丈(cm)	13.5	16.4	▲ 2.9	12.6	13.7	▲ 1.1	11.4
	主稈葉数(枚)	2.6	2.6	0.0	2.4	2.7	▲ 0.3	2.4
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	33.9	40.6	▲ 6.7	26.9	35.1	▲ 8.2	29.8
	茎数(本/m ²)	286	165	173 %	302	189	160 %	314
	主稈葉数(枚)	7.3	6.9	0.4	6.6	7.2	▲ 0.6	7.1
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)	50.5	51.9	▲ 1.4	40.6	45.3	▲ 4.7	39
	茎数(本/m ²)	716	435	165 %	702	504	139 %	743
	主稈葉数(枚)	9.9	9.3	0.6	9.3	9.4	▲ 0.1	10.0
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)	73.7	74.1	▲ 0.4	64.6	66.1	▲ 1.5	64.6
	茎数(本/m ²)	693	531	131 %	722	537	134 %	776
	主稈葉数(枚)	11.5	10.9	0.6	10.8	11.0	▲ 0.2	11.7
播種期(月/日)		5/30	5/30	0	5/30	5/30	0	5/30
田植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20
幼穂形成始期(月/日)		7/26	7/28	▲ 2	8/6	8/7	▲ 1	8/7
出穂期(月/日)		8/14	8/15	▲ 1	8/26	8/28	▲ 2	8/28
主稈止葉葉数(枚)		13.0	12.9	0.1	13.4	14.0	▲ 0.6	15.0
穂揃期穂数(本/m ²)			419	— %		419	— %	
稈長(cm)			93.2	—		87.4	—	
穂長(cm)			18.2	—		18.1	—	
成熟期(月/日)			9/20	—		10/11	—	

注1) 試験場が移転したため、平年値のデータはない。おいでまいについては、初年目のため過去のデータはない。
 注2) コシヒカリ、ヒノヒカリの差(比)は、過去2か年(平成23、24年)との比較で示した。なお、茎数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。

平成25年産水稻 気象表 (過去2年平均対比)

参考

アメダス：綾歌郡綾川町滝宮

——：本年の観測値 - - - -：過去2か年平均値

